

県教育委員会のご厚意で本校卒業生の阪神タイガース近本選手、楽天イーグルス辰己選手のサイン入りユニフォームを



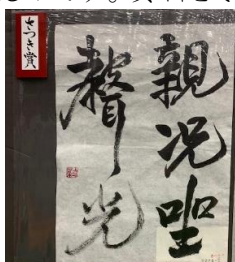
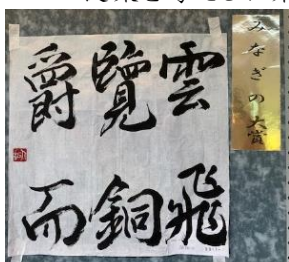
いただいたきました。兩名の活躍は皆さんもご存じのとおりですが、本校での行事があるときには事務室前に掲示して見ていただきます。また普段は校長室に置いてありますので、校長室にお越しの際は是非ご覧になってください。その近本選手からは県大会優勝ということでバットを寄贈していただきました。後輩たちの活躍を気にかけていただいているようで本当にありがとうございます。

10月6日には午後から1年生が学年での体育的行事を開催。①ハリケーン(5人で棒を持ち旋回し、リレー)②大縄跳③綱引きの3種目で競いました。4月遠足、7月球技大会以来の学年行事です。幸い天気も曇り空で、比較的過ごしやすい状況でしたので、マスク着用での競技としていました。ぶっつけ本番に近い状態だったので、チームワークが心配されましたが、拍手をしながら盛り上がりを見せていました。流石に大縄跳は、練習が不十分だったためあまり回数は跳べなかったようですが、それでも息を合わせてジャンプしていました。時間があれば、フォークダンスもやろうと考えていたようですが、残念ながらできませんでした。久しぶりのクラスで競う行事で親睦も深まったことと思います。なかなかまとまった活動ができない状況ですが、学年毎とはいえ、体育的行事ができてよかったです。学年の先生方も、普段は生徒がやっている準備等を率先してやっていただき生徒たちの活動を支援していました。



お疲れ様でした。なお、3年生は15日午前に球技大会形式で実施。2年生は11月中旬に実施予定です。

7日1年総合的な探究の時間では、加東市観光協会阿江事務局長が「まちづくり」をテーマに話をされました。「交流人口の増加によって定住人口の減少による損失を補填していこうと考え、観光に力を入れている。その目標として、加東市での長期滞在、リピーターを増やす、お土産の開発、SNSによる集客を掲げて、取組を進めており、本校生活科学科もツアー企画などで協力をしている」といった内容でした。加東市観光協会の方針を聞き、1年生がどのような高校生目線での提案を考えるか楽しみです。資料をそろえ、知恵を出し合って考えていきましょう。



10月2日から吉川総合運動公園パストラルホールで展示されていたみなぎの書道展ですが、1年4組森本拓人君が「みなぎの大賞」を受賞しました(写真左)。他にも2年3組大嶋えりかさんが「みなぎの賞」、1年3組谷上真優さんが「奨励賞」、3年4組高橋琉菜さん(写真右)と2年1組久保田佳歩さんが「さつき賞」を受賞しました。受賞された皆さん、おめでとうございます。

10月10日には生活科学科3年地方創生班が株式会社マルヤナギさんと共同開発したもち麦スープの販売、宣伝のお手伝いに行きました。前回は警報のため生徒が行くことができなかったのですが、今回が初めてです。今年は、緊急事態宣言が長引いたため、こういった活動が随分と制限されました。新規感染も少し落ち着き、校外での実習が少しでも経験でき、また自分たちが開発にかかわった商品が店頭に並び、喜びを感じることができたら関わっていただいた方々への感謝の気持ちも大きくなると思います。一歩ずつ頑張っていきましょう。

